

信仰を持つ

2026年5月23日 第8課





信仰とは、
望んでいる
事柄を確信し、
見えない事実を
確認すること
です。

(ヘブライ 11:1 新共同訳)



さて、信仰とは、
望んでいる事から
を確信し、まだ
見ていない事実を
確認すること
である。

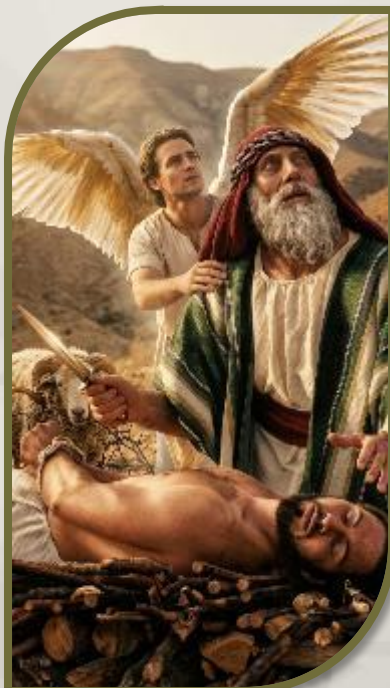
(ヘブライ 11:1 口語訳)

神への知識、聖書研究、そして祈りが、私たちの生活において変革をもたらす要素となるためには、それらに共通する一つの要素が必要です。それは「信仰」です。

信仰がなければ、これらの要素は単なる知識、あるいは意味を欠いた儀式に過ぎなくなってしまう。

しかし、信仰があれば、それらは私たちを霊的な体験の頂点へと導く力強い要素となります。

「信じる者には、何事もできる」(マコ9:23)。



信仰の様々な形:

- ➡ ただしるしをください
- ➡ イエスは私たちの信仰をご覧になる
- ➡ 信仰は感情ではない

信仰とは?

- ➡ 信仰の模範
- ➡ イエスの信仰

信仰の様々な形

ただ、しるしをください！

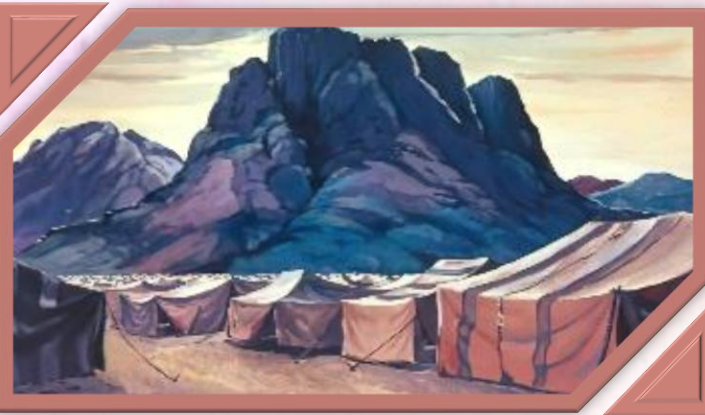
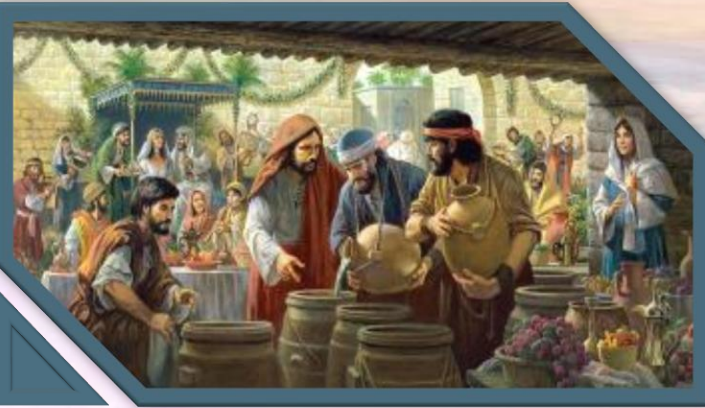
イエスは役人に、「あなたがたは、しるしや不思議な業を見なければ、決して信じない」と言われた。(ヨハネ 4:48)

「しるし」とは、靈感を受けたメッセージを裏付けるため、あるいは神の権威を裏付けるために与えられる、際立った印や現れのことです。しるしは一般に、カナの婚礼(ヨハネ2:11)のような奇跡的な出来事として理解されていますが、イスラエルの民がシナイ山の前に宿営して神を礼拝した事実(出3:12)もまた、しるしとして与えられたものでした。

パリサイ人たちは、イエスがメシアであることを証明する何らかのしるしを見せてほしいと願い、そうすればイエスを信じると言った(マコ8:11)。

イエスは、彼らが信仰のなさを正当化するためにしるしを求めたとき、憤りを感じられた(マコ8:12)。人が信じようとしないなら、どんなしるしでもその人を納得させることはできない。

神は、御言葉と自然の中に、信じたいと願う者が誰でも信じることができるよう、十分な証拠を与えてくださいました。しかし、疑いの余地は常にあります。だからこそ、イエスは「見ないのに信じた者たち」(ヨハ20:29)に特別な祝福を与えられたのです。



たった**60**秒で、神を信じるあなたの信仰を
どのように説明しますか。
その答えは、あなたの神との歩みについて
何を物語っていますか。

イエスは私たちの信仰をご覧になる



主は言われた。「もしあなたがたにからし種一粒ほどの信仰があれば、この桑の木に、『抜け出して海に根を下ろせ』と言っても、言うことを聞くであろう。(ルカ 17:6)

信仰にはさまざまな尺度があります：

使徒たちの信仰



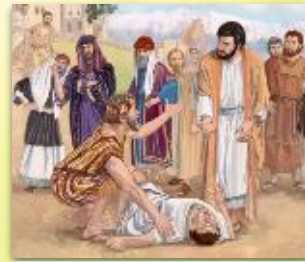
「なぜ信仰がないのか。」
(マコ4:40)

ペテロの信仰



「信仰の薄い者よ！」
(マタ14:31)

父親の信仰



「私の弱い信仰を助けてください」
(マコ9:24)

カナン人の女性の信仰



「あなたの信仰は素晴らしい」
(マタ15:28)

百人隊長の信仰



「イスラエルの中でも、これほど大きな信仰を見たことがない」
(ルカ 7:9)

ステパノの信仰



「信仰と聖霊に満ちた人」
(使 6:5)

不信仰の根が引き抜かれるにつれて、信仰が育まれていくことは明らかです。疑いは徐々に確信に取って代わられなければなりません。私たちが願うべきことは、「私たちの信仰を増してください」(ルカ17:5)ということです。

聖霊の働き、聖書の学び、そして神との交わりを通して、私たちは「あなたがたの信仰がますます深まっている」ことを実感することができます(2テサ 1:3)。



信仰を持つことについて、
あなたが抱いているあらゆる論理的な理由を
考えてみてください。
同時に、論理はどの時点で行き詰まり、
確固たる理にかなった信仰を貫く必要が
生じるのでしょうか。

信仰は感情ではない

事実、あなたがたは、恵みにより、信仰によって救われました。このことは、自らの力によるのではなく、神の賜物です。(エフェソ 2:8)

信仰とは、感情なのか、それとも理性的な行為なのか？

この問いに対する答えは重要です。「救われたと感じている」と言うのと、「自分が救われていると知っている」と言うのとでは、同じことではありません。

しかし、まずは最初から説明しましょう。信仰の起源とは何でしょうか。信仰は神から来るものであり、神が私たちに賜物として与えてくださるものです(ロマ12:3、エフェ2:8)。

その賜物に前向きに応えるとき——つまり、信仰を行動に移し始めたとき——その信仰は、私たちの中に喜びや安らぎ、精神的な安堵感といった感情を生み出します。

しかし、信仰そのものは単なる感情ではありません。それは「確信」であり、「信念」なのです(ヘブ11:1)。それは私たちの気分の良し悪しに左右されるものではありません。自分が弱さを感じたり、救いが遠く感じられたりする時こそ、最も信仰を行使しなければならないのです。



以下の聖句を調べて、信仰の行為としてそれらを受け入れ、 今日から神との関係を深めましょう

(へブ12:1、2、こういうわけで、わたしたちもまた、このようにおびただしい証人の群れに囲まれている以上、すべての重荷や絡みつく罪をかなぐり捨てて、自分に定められている競走を忍耐強く走り抜こうではありませんか、

代下15:7、しかし、あなたたちは勇気を出しなさい。落胆してはならない。
あなたたちの行いには、必ず報いがある。

ロマ3:23～26、人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、ただキリスト・イエスによる贖いの業を通して、神の恵みにより無償で義とされるのです。神はこのキリストを立て、その血によって信じる者のために罪を償う供え物となさいました。それは、今まで人が犯した罪を見逃して、神の義をお示しになるためです。このように神は忍耐してこられたが、今この時に義を示されたのは、御自分が正しい方であることを明らかにし、イエスを信じる者を義となさるためです。

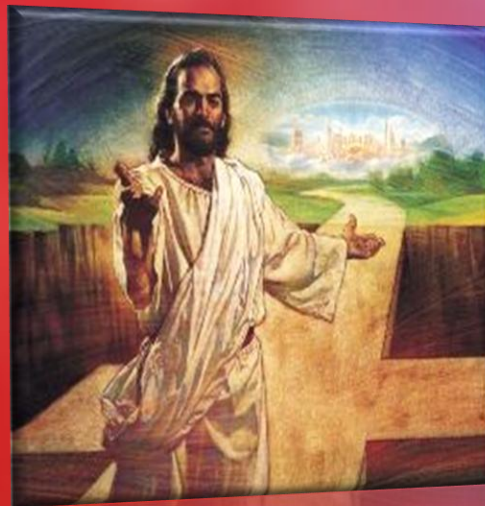
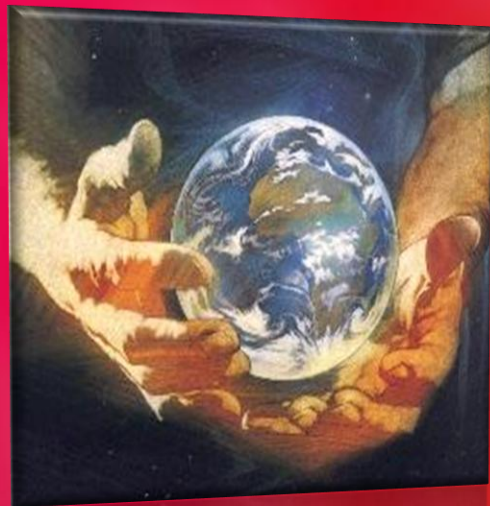
ルカ7:50 イエスは女に、「あなたの信仰があなたを救った。安心して行きなさい」と言われた。)

神様への祈りの一部として、それらを声に出して
読み上げてください。

The background features several colored pencils (red, purple, green, orange) arranged diagonally. A white rectangular box is centered horizontally, containing the text. The text is in a bold, purple font with a white outline and a slight drop shadow.

信仰とは？

信仰の模範



ヘブライ11:1、3、6節は、信仰について広範な定義を示しています。信仰は、私たちの神に対する理解と深く関わっています。信仰は、私たちを創造主であり報いる方である神を信じるように導いてくれます。

この章の残りの部分で、パウロは、私たちが報いを待ち望む間、落胆しないよう、模範となり励ましとなる多くの男女の信仰について詳しく述べています。

これまで見てきたように、信仰の深さは人それぞれです。たとえそれがわずかなものであれ、あるいは深いものであれ、自分の中にある信仰をどうすれば育ていけるのでしょうか。

信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認することです。

(ヘブ 11:1)



たとえどんなに小さなものであっても、信仰を行いなさい (マタ17:20)



聖書を学びましょう
(ロマ 10:17)



神に、それを増やしてください (ルカ17:5)



疑いに負けてはならない (マコ9:23-24)



自分の信仰を他人の信仰に依存してはならない (マタ25:8)



聖霊に応える
(ガラ5:22)



信仰を日々実践する
(2コリ5:7)

きょうは少し時間を取って、偉大な信仰の章として知られるヘブライ（ヘブル）**11**章を研究します。まず、途中で止まることなく、声に出して読んでください。それからもう一度読み、次の質問に対するあなたの考えを書いてください。

- 1節を読み直してください。まだ目には見えないけれど、あなたがきょう、望んでいるものは何ですか(差し迫った必要や永遠の夢など)。
- あなた自身の証しや回心において、信仰はどんな役割を果たしていますか。
- 神と創造に関する3節を読み直してください。なぜ、多くの点で、創造主なる神の存在は、信仰によって最も受け入れやすいことなのでしょう。
- 6節を読み、そのメッセージをあなた自身の言葉で書いてください。
- **7～40**節は、聖書の多くの人物の生涯を解き明かしています。なぜ信仰は、彼らと神との関係の強さを決定づける中心的要素なのでしょう。



イエスの信仰

ここに、神の掟を守り、イエスに対する信仰を守り続ける聖なる者たちの忍耐が必要である。
(黙示録 14:12)

イエスの再臨を目前に控えた私たち信徒は、二つの「守るべき」もの（すなわち、従うべき、あるいは守り抜くべきもの）によって特徴づけられています。それは、戒めとイエスの信仰です（黙14:12）。

律法（戒め）と福音（信仰）は密接に結びついています。信仰がなければ従うことはできず、従わなければ信じることもできません。しかし、「イエスの信仰」とは一体何を意味するのでしょうか。



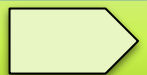
イエス様とその御言葉に従いましょう



イエスと日々を共にする



イエスを人生の中心に据える



信仰に従って生きる



信仰の拠り所をイエスに置く



私たちの生活の中でイエスを映し出す



神の恵みの賜物を受け入れましょう



イエスを信じることで、私たちは義と認められ（ロマ5:1）、聖別され（使26:18）、神の子となるのです（ヨハ1:12）。

あなたはどれほど

イエスの信仰を願い求めていますか。

へりくだって神にイエスの信仰を与えて
くださるよう願い求めて、ヘブ **11:6** を個人的
な祈りとして唱えましょう。「主よ、信仰が
なければあなたを喜ばせることはできません。

私はあなたのもとに来て、あなたが確かに
存在されることを信じ、私が熱心にあなたを
求めるとき、あなたが私に報いてくださる
ことを信じます。今、そうします。」

「それでは、主イエスがあなたを一步一步正しい道へと導いてくださることを信頼してください。一步一步前進するたびに、確信と力を得ることが出来ます。なぜなら、あなたの手が主の手の中にあり、守られていると確信できるからです。あなたは「走っても疲れることなく」、また「歩いても衰えることなく」進むことが出来ます。なぜなら、信仰によって、自分の手がキリストの手の中にあり、守られていることを悟ることが出来るからです。あなたは落胆して沈むことはありません。なぜなら、主に信頼して主に従い、主を知るようになれば、主を完全に信頼する者を決して見捨てない方が、あなたの絶え間ない助け主であるという確信が得られるからです。」

EGホワイト (Our Father Cares, October 27) (非公式訳)